

大垣市道の駅整備検討委員会 第2回会議

議事録

(令和7年10月24日)

第2回大垣市道の駅整備検討委員会会議を令和7年10月24日（金）市役所4階情報会議室において開催した。

次第は、次のとおりである。

1 議題

- (1) 道の駅の段階整備について
- (2) 道の駅等整備基本方針（素案）について

委員は次のとおりである。

出席（12名）

車戸 慎夫	竹内 治彦	野々村 修一	(Web 途中参加)
鈴木 宣也	木村 幸雄	宇佐美 新晶	清水 雄二
三輪 正直	杉崎 康宏	川合 千代子	安田 典子
浅井 かおり			

欠席（4名）

高木 朗義	吉田 和郎	櫻井 喜久男	平田 美歩
-------	-------	--------	-------

オブザーバーは次のとおりである。

出席（1名）

加納 敏彦（Web参加）

欠席（1名）

安藤 裕通

市の出席者は次のとおりである。

都市計画部長	河瀬 良康	都市計画部長	高木 俊介
道路課長	久野 裕二	都市計画課長	佐竹 一仁
道路課	河合 章弘	都市計画課	伊藤 孝弘
都市計画課	廣島 功二	都市計画課	矢田 佳大
都市計画課	角 夏希		

(開始時刻 9時30分)

事務局	1 開会
	※ 出欠者の確認
部長	2 部長あいさつ
	※ 部長あいさつ (略)
事務局	3 議題
	(1) 道の駅の段階整備について

・議案の(1)、「道の駅の段階整備について」ご説明させていただきます。

・次のページをご覧ください。

・本議案においてご説明させていただく事項は、次のとおりです。1、位置と規模について、2、道の駅の段階整備について、3、検討の焦点についてです。

・趣旨としましては、第1回の会議で皆さんからいただいたご意見について、位置と規模に関するものが多く、まずはそこについて市の考え方をお示しさせていただきます。

・また、私どもが考える位置・規模で開発を行うには様々な制約があり、時間がかかります。そこで解決策として、スモールスタートによる早期供用を実現する道の駅の段階整備についてご説明させていただきたいと考えています。

・以上を踏まえ、本委員会で検討する議論の焦点について理解を深め合いながら、焦点を絞らせていただいた上でご意見をいただけたらと存じます。

・次に、2ページをご覧ください。

・皆さまからいただいた位置や規模に関するご意見をまとめています。

・段階整備を検討する際にも、機能の取舍選択をするにあたって、位置や規模が分からないと議論できない。コメ不足の状況下で調整区域が開発されることを農業事業者が危惧していて、事業をスムーズに進めるために、位置・規模を明らかにして、農業事業者の意見を聞きながら進めてほしい。場所によって地下水の水質が悪くなるので、できるだけ東の方での整備を提案したい。災害時には駐車スペースが重宝さ

事務局

れるので、できるだけ広いスペースを確保した方が利用価値が高いので、規模感を知りたいなどのご意見をいただきました。

- ・次に、3ページをご覧ください。
- ・位置や規模のご意見に対して、市の考え方をご説明させていただきます。
- ・まず、前提となりますが、航空写真に赤枠でお示ししているのが、土地利用の検討について調査している範囲となります。
- ・次に、4ページをご覧ください。
- ・大枠の話となりますが、土地利用の候補地として、大垣西インターチェンジよりも西側の区域を考えています。
- ・理由としましては、1点目は、土地利用を検討するにあたって実施した民間事業者の意向調査の結果、進出意向に関心があった事業者のほとんどが大垣西インターチェンジよりも西側のエリアに関心があるという結果であったこと。2点目は、国道21号沿いで道の駅整備を検討しているからです。
- ・次に、大垣西インターチェンジの西側どこでも良いのかということにつきまして、候補地設定にあたって、移転補償費等のコストの観点から、極力、住宅敷地を含めず、一団の農地を対象とするため、一団の農地が広がる、土地利用の可能性のあるエリアを検討すると、図の楕円で囲んだエリアとなります。
- ・まだ、候補地について決定しているわけではなく、これが市として考える2案というわけでもございません。位置を考える上での方向性をつかんでいただきたいために説明させていただきました。
- ・次に、5ページをご覧ください。
- ・この土地で道の駅を整備するにあたって、必要最小限の規模はどれぐらいになるのかについて示しています。
- ・こちらについても、どのような算出根拠をもってくるかで規模感は変わってきますので、あくまでもイメージをお伝えするためにお示ししています。
- ・この算出方法ですと、必要最小限の規模として約1.7haは必要だろうということになります。
- ・次に、6ページをご覧ください。

事務局

- ・必要最小限のところから付加価値をつけていくとどれくらいの規模になるのか。
 - ・他都市で多機能かつ来場者数が多い道の駅を参考に、地域交流センターを1,000㎡、公園広場を2ha、バスロータリーを3,000㎡、パーク&ライド駐車場を2,500㎡ほどとすると、大体4.5ha程度となります。
 - ・大きくても5haが1つの目安ですが、費用の観点と機能の観点を見極めながら今後検討していくこととなります。
 - ・次に、7ページをご覧ください。
-
- ・先ほどの方向性を踏まえた位置・規模において開発を行おうとすると、様々な課題が浮き上がってきます。
 - ・まとめますと、時間とお金が課題です。
 - ・東海環状自動車道の全線開通は近く実現されている中で、例えば10年も時間をかけて整備しては契機を逃します。
 - ・また、他都市の事例から、道の駅整備には1haあたり12億円程度必要となることが想定されています。例えば5haですと約60億円が必要になります。
 - ・老朽化する公共施設への再投資、大垣公園等再整備事業や市街地再開発事業など、進んでいる他のプロジェクトの事業費等を考えますと、他都市と同様の投資の方法で道の駅の整備を行うことは最善策ではないというのが現在の私どもの考えでございます。
 - ・そこで、できるだけ早く、できるだけコストを抑えた方法で整備を検討する必要があるという結論に至りました。
 - ・次に、8ページをご覧ください。
-
- ・先ほどの課題に対する解決策こそは、私どもの考える道の駅の段階整備です。
 - ・道の駅の整備を大きく分けて2段階に分けることを検討しています。
 - ・私どもが目指す、最終形の道の駅をフェーズ2、フェーズ2の機能を一部早期供用しようとスモールスタートするのがフェーズ1でございます。
 - ・最終的に目指す姿であるフェーズ2、優先的かつ具体的に整備を検討するフェーズ1という位置づけです。
 - ・次に、9ページをご覧ください。

事務局

- ・段階整備の概要についてご説明いたします。
- ・まず、道の駅全体の整備コンセプトとして、成長する道の駅を掲げたいと考えています。
- ・物理的な施設規模の段階的拡張やデジタル技術など機能の段階的拡充など、施設の成長を位置づけています。
- ・地域活動を通じた住民の団結力や地域団体の経験値の向上、6次産業化製品製造の過程で営農者の技術力向上などを人の成長と位置づけています。
- ・これらを通して地域の成長につなげていこうというコンセプトとなっています。
- ・次に、フェーズ1のあり方についてご説明いたします。
- ・規模は、とっかかりとして1ha程度を想定しています。
- ・また、1ha程度とお伝えしましたが、フェーズ2に向かう途中でのフェーズ1.5という段階についても検討しており、少しずつ規模を拡張していくということも考えています。
- ・フェーズ1はフェーズ2の一部早期供用という位置づけですので、フェーズ1で実装する機能は基本的にフェーズ2に移行させていきます。
- ・フェーズ1は、実験、トライアル的な要素を含み、コンテナやトレーラーハウスなど簡易的な構造物による施設整備を考えています。
- ・フェーズ1は簡易的であるということのメリットを追求し、機動性や柔軟性に着眼したアプローチを検討しています。
- ・以上がフェーズ1の大枠の整備のあり方になります。
- ・次に、10ページをご覧ください。

- ・完成時期に関するご質問も多かったですので、スケジュールについてお伝えさせていただきます。
- ・段階整備のスケジュールをお示しするにあたって、全体的な土地利用のスケジュールでご説明させていただきます。
- ・全体のスケジュールは記載のとおりで、大きく分けて、短期、中期、長期に分けています。
- ・この中でフェーズ1は短期に該当し、フェーズ2は中期に該当します。
- ・具体的に、短期は5年以内、中期は10年以内を目指しています。
- ・現在作成している道の駅等整備基本方針で詳しく言及するのは、短期、中期までのお話となっています。
- ・次に、11ページをご覧ください。

事務局

- お金のことについても皆さまからの関心が高いですので、事業費の考え方についてご説明いたします。
 - 他都市の事例となりますが、静岡市にトライアルパーク蒲原という施設がございます。
 - こちらは、いきなり道の駅を整備するのではなく、この地域にはどのようなニーズがあるのかを把握するために、お金をかけず社会実験的に整備した暫定施設となっております。
 - 広場やコンテナ等の施設整備で全体事業費は1億7,000万円程度ということで、補助金や企業版ふるさと納税を活用しながら、市のもちだしは7,500万円程度ということでした。
 - 現在、こういった事例も参考にしながら検討を進めているところです。
 - 次に、12ページをご覧ください。
-
- これまでのお話を踏まえまして、今年度、検討委員会では、最終的に目指す姿としてのフェーズ2のあり方を検討すること、そして、その中でも、フェーズ1についてより具体的なあり方を検討することが焦点となってきます。
 - これまで、皆さんの認識としては、フェーズ2、最終形を早く決め切らないといけないのではという認識があったかと思います。
 - それはもちろんそうなのですが、まずはフェーズ1をどうしていくのかというところに着眼していただき、今後の検討としていきたいと思っています。
 - フェーズ2は最終的に目指す姿をイメージして、フェーズ1は具体的に、そういった位置づけで考えていただければと思います。
 - 次に、13ページをご覧ください。
-
- と言いつつも、フェーズ1はフェーズ2あってのものであり、将来形を描いた上で検討する必要があります。
 - 前回、皆さまからいただいたご意見を踏まえながら、私どもが考えるフェーズ2のあり方について、イメージ図を作成しました。
 - 誰に対して何がしたいのかについて、大枠の方向性を示しています。
 - 誰に対しての道の駅なのかにつきまして、道路利用者、周辺住民、広域観光者をメインのターゲットとして3分類しました。
 - それぞれのターゲットに対し、どのようなアプローチで道の駅を機能させていくのかということにつきまして、分かりやすくイメージして

事務局

- もらうためにキャッチコピー的に表現しています。
- ・このような方向性に基づき、各種機能を導入したフェーズ2を最終形としたいと考えています。
 - ・次に、14ページをご覧ください。
- ・これまでの説明のとおり、フェーズ2という将来像を踏まえて、フェーズ1でコンテナという簡易的施設を使って、どの機能を優先的に実装していくのかということを考えていく必要があります。
- ・これが今回の検討委員会における検討の焦点でございます。
 - ・次に、15ページをご覧ください。
- ・誰に対してのフェーズ1なのかを表で整理しました。
- ・次に、16ページをご覧ください。
- ・地域住民に対してどのようなフェーズ1としていきたいか。
- ・多世代の新たな居場所となるようなところにしていきたいと考えています。毎日行きたくなるような仕掛けづくり、施設整備を目指します。
 - ・また、地域の農家や何かを始めたい人のきっかけづくりを支援する施設を目指します。
 - ・次に、17ページをご覧ください。
- ・通勤者・トラックドライバーに対してどのようなフェーズ1としていきたいか。
- ・ここに来れば休憩に困らない、コンテナという限られた資源を使いながらも、快適に休憩していただける施設を目指します。
 - ・また、■■■■委員のご意見で、みんながスマホで情報を取得している中で、立派な情報提供施設が要るのかというご意見がありました。
 - ・そうしたご意見も踏まえて、フェーズ1では、できるだけコンパクトに効果的に情報提供ができるような施設整備を目指します。
 - ・次に、18ページをご覧ください。
- ・観光者に対してどのようなフェーズ1としていきたいか。
- ・通過交通量が多いこの地区だからこそ目指すデザインが有効であると考えられますし、コンテナという自由な箱だからこそ柔軟にデザイン性を発揮できると考えられます。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市外、県外から若い世代を取り込んでいけるようなアートに着目した施設整備を目指します。 ・次に、19ページをご覧ください。 ・観光者に対してどのようなフェーズ1としていきたいか。 ・交通アクセス優位性があるこの地区だからこそ、多様な交通モードに対応した交通結節点機能を持たせたいと思います。 ・また、RVパークなどの設置により滞在観光の促進を図っていきたいと考えています。 ・次に、20ページをご覧ください。 ・現在、国土交通省において、コンテナの機動性に着目し、防災機能を持たせたコンテナの活用促進が図られています。 ・地域住民のための防災倉庫や、被災地に迅速に届けられるトイレコンテナなど、機動性、柔軟性に着目した防災機能の実装を図ります。 ・次の21ページをご覧ください。 ・まずは、フェーズ1でどういうことをやっていけるのか。 ・これまで説明させていただいたコンテナと〇〇案の全てが実現できるわけではなく、ここからより有効な施設のあり方を絞っていく作業が必要となり、現在検討を進めています。 ・今後、より具体的に案を提示していきたいと思っておりますが、今回は、今の段階で皆さまのご意見をいただけたらと存じます。よろしくお願いいたします。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・第2回目として、今回は、少し具体的に道の駅の整備の方法、段階整備の考え方についてご説明いただきました。 ・ご意見、ご質問等ございましたらどうぞ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・20ページの手押しポンプのイメージですが、災害時に有効に機能するという観点から考えると、電気でもポンプアップできるものが必要になってくると思います。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボリックなイメージとして使ったもので、具体的には今後検討されるものかと思います。 ・ちなみに、地震が来たとき、地下水というのは濁らないものですか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外で調査確認してきましたが、井戸は地震時に大地と共に揺れるので、管の付着物が剥がれる程度で、ほぼ影響はないです。 ・したがって今、防災用としての井戸が見直されてきています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・液状化が起これば、特に砂の層だと、水が濁ると思っていますが、そういうことは大丈夫ですか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この辺りの土地に関しては大丈夫だと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。ありがとうございます。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なことを教えてください。1haや5haという規模感の話が出てきていますが、4ページの図だと、1haは大体どのくらいの規模感になりますか。 ・この検討区域の区切り方というのはどういう区切り方なのか。農地のところを切り出してきたようなイメージですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・参考として、赤い楕円が、大体20haとなりますので、その20分の1程度の規模感となります。 ・区域設定について基本的には、一団の農地があり、地形地物で区切ったエリアとなっています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・■■■■委員は今日が初めてのご参加だと思いますが、何かご意見ありますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全体のコンセプトで、成長する道の駅があり、ターゲットを明確にした上で、どうアプローチするかという視点で組み立てられていて、とても良いと思いました。 ・また、トライアルパークのようなフェーズ1で、段階的にフェーズ2に

委員	<p>移っていくというのは、非常に面白い考え方かなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただ、他の道の駅では地域の特色をうまく打ち出していますが、このコンセプトを見ていて大垣市の特色が見えづらいと感じました。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・そのあたりについては、「第3ステージを超える」というコンセプトがポイントになってくるように思いますがいかかでしょうか。事務局から少しご説明していただけますでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、国で進められている道の駅は、もともとが道路休憩施設としての第1ステージから始まりまして、現時点では、地域創生につながる観光を加速する拠点ということで、第3ステージのあり方の検討を進められています。 ・我々としては、それを超える機能を今回提案するというところまでは正直なところ出来ているわけではございません。 ・では、何をもって第3ステージを超えると言っているのかというところですが、まさに今言った成長する道の駅、要は機能を限定して、初めから固定化した機能を提供するところからスタートするのではなく、時代の流れに合わせ成長する、変遷を許容するような道の駅というコンセプトでございます。 ・これはどちらかというと施設の機能的なものであって、どういうものを盛り込むかということではありませんが、時代が変わり、求められるものに対応できるような施設設計をもってして、第3ステージを超えるという言葉を使わせていただいているというのが実情でございます。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・時代のニーズを捉えにくいので、固定的な建物をつくらず、自由度の高いコンテナの利用という提案があるんだと思います。 ・こういったコンセプト的な考え方が、第3ステージを超えるという考え方だと理解しました。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今のご説明はとてもよく分かりました。 ・そのまま第4ステージに向かってどんどん進めていただければというふうに思いました。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・常設店ではなく、シェアリングスペースを活用し、流行りに応じた店舗に入れ替えていくということは良いと思います。 ・ただ、その場合は、運営を誰がやるかというのは結構大きな問題で、市役所がやるのはちょっと大変でしょうし、運営事業者と関係をつかっていただくことが必要なのかなというふうに思いました。 ・それと、農地を活用するからには農業振興的な要素を入れざるを得ないでしょうけれども、大垣の農業で集客というのは難しいと思います。 ・そこでアートを出されたんですけど、それもそれで良いと思います。 ・映えるスポットとして伊吹山を背景にしたアートというのも話題になる可能性があり、それも大垣らしいのかなと思うので、18ページの提案は良いかなと思いました。 ・ただ、何にしても、それを運営していく担い手の方が大切だと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の農業に関してですけど、水を生かした親子農園というのを広く展開してはどうかというふうに思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・親子農園は道の駅から派生した次のステップになると思います。 ・誰が運営をするのが大事というところはありますね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今、 委員がおっしゃられたとおり、管理運営される事業者は公募で選定すると思うんですけど、成長する道の駅ということで、まずフェーズ1の段階で、事業が成り立つ事業者がみえるかというところも悩みどころですし、その後、フェーズ2になって全体的な管理というところで、目指す方向性を含めて考えていただける事業者を探すのもひとつ難しいところだと思います。 ・今後、その辺も考えながら進めていきたいなと考えております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営者については今後進めていくということですね。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・南一色公園周辺は、杭瀬川の戦いの場所だと言われているので、観光に打って付けの場所だと思います。 ・関ヶ原合戦までに日本全国で前哨戦があり、すべてが西軍の負け戦で

委員	<p>したが、杭瀬川の戦いでは、唯一西軍が勝利し「西軍たった一度の勝ち戦」と言われており、西軍ファンにとっては聖地だと思います。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の周辺の情報、環境整備でそういった情報の発信は行っていかと思います。 ・また、埋蔵文化財については、知見ができてから、手を付けると良いと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東側の杭瀬川というのも、水都大垣としては水辺空間というところで活用できる有効な空間であるという認識はしております。 ・ご指摘があったように、南一色公園がございまして、こういったものを拡張的にどういう対応ができるのかというのは、土地利用の検討の一部であるという認識をしておりますので、今、委員長からあった地下に埋まっている史跡ですとか、決戦前夜の地理的な要件というところは、何らかの観光アピールのポイントとして活用できないかなという思いは事務局としてもございますので、参考にさせていただきたいと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・■■■■委員のおっしゃるとおりで、実際にはここは観光資源の宝庫であり、中部山岳地帯へのゲートウェイにもなるので、そういう意味では、いろんな活用の仕方はあるかと思います。 ・最終的には、区画整理等が始まったときに、地域の方々の協力が必要になります。 ・いろんなところのまちなかで再開発をやっても、結局は地権者の意向というので潰れることが多いんですね。そういうときにはぜひご協力をお願いいたします。 ・その他、いかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・7ページに、大規模用地の確保に時間がかかる、大規模な用地確保にお金がかかる、大規模な農地転用による地元のリスクが書いてあるんですが、約1億7000万円で事業を実施しようとしても、大したことはできないですね。 ・道の駅は多くの人が集まってくるようなイメージを持っていますが、現在、フェーズ1で検討している駐車場やトイレ、情報提供施設という、長距離トラックのチェーンの脱着場やトイレ休憩で使用される様

<p>委 員</p>	<p>子が頭に浮かびます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そう考えると、観光客の誘致や、地元の人々の活用・利用は、まだ先の段階になると思うんですが、ものすごい時間がかかる。 ・私のイメージとしては、物販や飲食ができる「道の駅」の建物があって、そこに、キッチンカーやコンテナハウスといった機能を付けたし、拡張していく。 ・そして、その周辺に農業従事者とのコラボでビニールハウス、親子農園、農作物の販売というイメージがあったんですが、お金がないということが一番問題です。 ・土地の確保に時間がかかるという問題があるんですが、もうちょっと短期でできないかなと思います。 ・四国の道の駅を見てきたんですが、人が集まっています。 ・野菜の販売やリンゴの詰め放題が行われ、愛知県から買い求めてくる人もいて、道の駅といえばそのようなイメージがあります。 ・観光客、地元の人に活用してもらえ魅力ある施設にしていくために、期間を短くして、できるだけ予算を確保してほしいと思います。
<p>事 務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。 ・スケジュールですが、まずは、短期ということで5年程度でフェーズ1を簡易なところで供用し、同時に最終的なフェーズ2に向けた用地確保も進めて参ります。 ・それが大体中期ということで10年ぐらいを目途に検討させていただいています。 ・ただ、フェーズ1につきましても、先ほど■■■■委員が言われた、農産物販売のような施設も設置できないか検討して参りますので、よろしくお願ひします。
<p>委 員 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多分、この後、メインの建物ができてどうのこうのという感じではないと思いますね。まだ具体的なことは分かりませんが。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東海環状自動車道が全線開通して、いなべ市の方がすごく発展しつつあり、そこで大きなものができてしまうと、影が薄くなってしまいうんじゃないかなというイメージがあります。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東海環状自動車道が全面開通するという事を見据えて、一刻も早く大垣に道の駅を作りたいんですが、一度に作るには時間がかかるので、まず、フェーズ1というスモールスタートで行きたいという考え方でございます。 ・フェーズ1は、■■■■委員がおっしゃられるトラック運転手のチェーンの脱着場という殺風景なものではなくて、キッチンカーやコンテナハウスを適宜配置して、一定のにぎわいを創出するようにしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・20年先の話では遠すぎるので、その辺を踏まえて検討よろしく願いします。
委員長	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">(2) 道の駅等整備基本方針（素案）について</div> <ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見等がなければ、次に移らせていただきます。 ・議題の(2)、道の駅等整備基本方針（素案）について、事務局からご説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議案(2)、道の駅等整備基本方針（素案）についてご説明させていただきます。 ・お手元の資料No.2をご覧ください。 ・道の駅等整備基本方針につきましては、第1回目の会議で骨子案についてご説明させていただきましたが、今回、第1章から第2章までの素案を提出するにあたり、改めてご説明いたします。 ・第1章は、全体の土地利用のコンセプト、令和6年に策定した土地利用構想のまとめとなっております。 ・第2章は、本市が目指す道の駅の在り方について取りまとめています。 ・第3章は、民間開発を前提とした周辺土地利用のあり方についてまとめる予定です。 ・第4章は、1章から3章までを踏まえて、道の駅を核としつつ、民間施設と一体的に機能する道の駅等整備基本方針についてまとめる予定です。 ・第5章は、全体土地利用の中から一部早期供用を図る道の駅、フェーズ1の位置、規模、機能について取りまとめる予定です。 ・1ページめくっていただきますと、基本方針の要旨がでございます。 ・今回は、第1章と2章までをまとめてまいりましたので、ご説明をさせ

事務局

ていただきます。

- ・表紙をめくっていただきまして、1ページをご覧ください。
- ・第1章のタイトルは、ぎふ西美濃のゲートウェイ構想です。
- ・記載項目としてはスクリーンのとおりです。
- ・ここでは、令和6年度に策定した土地利用構想のまとめを記載しています。簡単にご説明させていただきます。
- ・各種調査を踏まえ、大垣西インターチェンジ周辺の特徴、いわゆる土地利用のポテンシャルについて整理した上で、土地利用コンセプトを設定しました。
- ・お手元の資料2から3ページをご覧ください。
- ・各種調査検討から、3つの土地利用ゾーンと、9つの導入機能軸を設定し、道の駅を核とした施設整備により西美濃地域を代表するゲートウェイとしての役割を最大限に発揮した土地利用を目指すことを方針としました。
- ・ここまでが1章の内容となっています。
- ・続きまして、第2章について、2章のタイトルは、本市が目指す道の駅です。記載項目としてはスクリーンのとおりです。
- ・まず、1項目めに大垣市の課題を記載しております。道の駅整備において、特に解決したい課題について記載しています。
- ・次に、2項目め、道の駅のこれまでとこれからにつきまして、道の駅のこれまでの歩みとこれからの展望について記載しています。
- ・次に、3項目め、市内及び周辺整備の状況では、本市周辺の道の駅の整備状況について、分布図で整理しているほか、周辺道の駅との連携の考え方について記載しています。
- ・次に、4項目め、なぜ大垣西インターチェンジ周辺で道の駅整備を検討するのかでは、これまでの記載内容をまとめ、いかに大垣西インターチェンジ周辺で土地利用を図ることが有効かを体系的に示しています。
- ・次に、5項目め、道の駅整備コンセプトでは、議案(1)でも説明させていただいた成長する道の駅について記載しています。
- ・次に、6項目め、導入機能方針では、成長する道の駅というコンセプトを踏まえつつ、誰のために何がしたい道の駅なのかを表現していま

事務局

- す。
- ・ここまでが第2章の内容となっています。
 - ・下線を引いてある箇所は特に重要な内容となっていますので、下線の部分を中心にご説明させていただきます。
 - ・それでは、お手元の資料5ページをご覧ください。
- ・(2) の厳しい財政下での公共投資のあり方につきまして、議題(1)でもご説明したとおり、公共施設の老朽化や、他のプロジェクトにかかるコストを勘案し、限られた予算の中でうまく投資をすることに重点を置き、整備を進める必要性を明らかにしています。
- ・次に、6ページをご覧ください。
- ・(3) 観光入込客数の停滞につきまして、第1回目の検討委員会でも触れましたが、観光施策では、地域活性化の有効な手段であることを踏まえまして、道の駅整備による観光拠点整備を進める必要性を明らかにしています。
- ・続きまして、資料の7ページをご覧ください。
- ・ここからは、道の駅のこれまでとこれからについて記載しています。
- ・7ページには、前提として、道の駅の基本的な事項について記載しています。
 - ・続きまして、8ページと9ページをご覧ください。
- ・(4) これからの道の駅と題して、ここでは、国土交通省によって立ち上げられた「道の駅」第3ステージ推進委員会における検討内容を踏まえながら、新たな道の駅のあり方を展望しています。
- ・道の駅の役割が拡大する中で、より広域的な役割を期待されていること、また、社会課題への対応範囲という点についても拡大していくことが求められていると考えられます。
 - ・私どもとしては、特に急激に変化する社会情勢や、突発的に発生する自然災害に対して、柔軟かつ機動的に対応できる施設整備というのがこれからの時代には求められているのではないかと考えています。
 - ・続きまして、資料の11ページをご覧ください。
- ・ここでは、なぜ大垣西インターチェンジ周辺で道の駅を検討するのか

事務局

について記載しています。

- これまで整理してきた内容、本市の強み、本市の課題、新たなニーズとして分類し、強みを生かし、新たな技術を活用しながら、課題解決を図る道の駅整備を行うことで、様々な効果につなげていきたいということで体系的に整理しています。
- 続きまして、資料12と13ページをご覧ください。

- ここでは、道の駅の整備コンセプト、成長する道の駅について記載しています。
- これまで整理してきた課題、道の駅の新たな展望などを踏まえ、整備コンセプトを設定しました。
- 施設の成長と人の成長を通して地域の成長につなげていく、そんな道の駅整備を目指してまいります。
- 続きまして、資料の14と15ページをご覧ください。

- ここでは、導入機能の方針について記載しています。
- そもそも誰のための施設なのかということを確認するため、ターゲットを設定しております。
- メインターゲットとして、道路利用者、周辺住民、観光者の3分類としました。
- そのターゲットに対して何をしていく道の駅なのかというところを分かりやすくするために、キャッチコピー的な表現を記載しました。
- 15ページの3、本市が目指す道の駅における導入機能の在り方が、現在私どもが考える最終形のフェーズ2の姿とします。
- 次に、16ページ、17ページをご覧ください。

- ここでは、前のページで示した導入機能のあり方の具体的なイメージを記載しています。
- 記載にあるものが全てではございません。
- フェーズ2の在り方をより具体的に想像できるよう表記しています。
- 第2章の記載はここまでとなります。
- なお、第4章においては、この機能のイメージから各施設によって適切な算出方法である程度の施設規模を導き出す予定をしております。
- 説明は以上となります。よろしくお願いたします。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅等基本方針（素案）の第1章、第2章をご説明いただきました。 ・ご質問、ご意見等ありましたら、お伺いいたします。 ・何年も、何十年も施設を維持管理するというのは、時代の変化と同時に変わってくるものですので、非常に難しいですね。 ・まちづくりや地域づくり、インフラまでも一般企業に投資してもらわないといけない時代が来ているという中で、何とか行政でやっていこうということだろうと思います。 ・そうすると、少し長い軸で捉えないとなかなか難しいので、それを踏まえながらまとめてほしいと思います。 ・早く供用したいという思いがあるんでしょうけど、大垣にある定着した産業を守りながら発展させていくという基礎の部分をしっかり頑張っていたきたいと思います。 ・どうでしょうか、皆さん。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもきれいによく書いていただいて、この方向で進めていただければ良いのかなと思います。 ・面白いなと思ったのは、8ページのところで、これからは線路を敷いて大量輸送をやるよりは、分散型の自動運転で移動を確保するという時代になっていくんだろうなと思っているので、フェーズ1からでも、せっかく何か新しいコンセプトを出すのであれば、新交通の何らかの可能性を、入れてみるというのもあるのかなと思います。 ・それから、最終段階の道の駅がどの位置になったとしても、荒尾といった大垣市の人口が多い地域と隣接してくると思います。 ・単なる道の駅の物販や観光客の集客だけではなくて、新交通の観点から言えば、地域に対してそういったものを提供して、都市計画全体に影響を及ぼしていく。ある種、ニュータウンとして機能していけるようなところまで構想いただけたらすばらしいなと思います。 ・そこまでいけるかどうかはともかく、岐阜市でやっているように新交通システムの実験を大垣でもやっていかないとと思います。 ・街なかでは2車線のところも少ないので難しいと思うんですけども、この構想の中では、ひよっとしたらできそうな感じもするので、ご検討いただけたらと思いました。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・他にいかがでしょうか。

委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちに一番直結するのは、16ページの周辺住民に対してというところ です。 ・ 平和堂のノースウエストが閉店し、周辺住民が非常に困っています。 ・ それを踏まえて、あの周辺の住民が必需品を購入できるような設備に していただくとありがたいなと思います。
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何でも揃うということは周辺住民にとっては大事ですので、そういった 地域の声も踏まえてまとめていただきたいと思います。 ・ 他にいかがでしょうか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6ページのところで、入込客数が多い施設には、固有の魅力がありますが、大垣の場合、奥の細道むすびの地や水のパビリオン、ソフトピア ジャパンは、全国の皆さんがここにぜひ行きたいと思う施設かどうか というのは、この数字が示すように、やや魅力に欠けるということ で すね。 ・ 大垣は、どうしても行きたい、どこへ行きたいというのではないけど、 取りあえず行ってみようかという気も起きない。 ・ 大垣西インターチェンジ周辺は、国道21号やJRの駅がすぐそばとい う立地条件はすごく良い。 ・ これにどんな機能を付加すれば魅力的な施設になるのか。 ・ 先ほど■■■■委員が言われたように、ここに大型店舗があると生活に便 利だなという思いは分かるんだけど、大型店舗はどこにでもある わけですよ。 ・ だから、大型店舗を作ったからといって、すごい魅力のある道の駅と は言えない。 ・ それから、防災に強い道の駅は、すごく大事だと思うんですけども、 豪雪や豪雨といった自然災害が起きて初めて利用されるので、日常的 に必要、立ち寄りたいたいというわけではないと思うので、たくさんの方 が利用できる道の駅にしようと思ったら、発想の軸足をどこに置くの かということを考えないと厳しいかなと思います。
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。 ・ 他にはいかがでしょうか。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・30年前に大垣西インターチェンジ周辺の土地利用について大垣商工会議所の中で議論がありました。 ・今回の計画でターゲットが国道21号と東海環状自動車道ということですが、名神高速道路の大垣インターチェンジと比較すると、圧倒的に車の交通量が少ない。 ・30年前に議論した結果が、現状の様子になっているということをよく検証していただいて、大垣西インターチェンジを検討していただきたいと思っております。 ・先ほど■■■■委員がおっしゃったように、自動運転バスを走らせるのは良い思うんですが、産業界としては、メインはソフトピアジャパン周辺でやることじゃないかというイメージがあるんですね。 ・大垣西インターチェンジ周辺とソフトピアとどういうふうにつないでいくのか、ソフトピアへいかに誘導していくかという2次効果も考えながら、こういうのを作っていただくと良いかなと。 ・自治会長さんがおっしゃっておられるように、防災や周囲の消費生活の向上というのも大切なお話で、これが防災上は一番大切なお話だと思います。 ・産業界としては、大垣市の産業の発展のためにはソフトピアジャパンは欠かせない施設でございますので、こういった産業と大垣西インターチェンジ周辺とどういう接点をつなぐかを考えていただくと非常にありがたいなと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今のお二人のお話に関連するところがあるんですけども、僕が委員をお受けしたときに面白いなと思ったのは、都市計画もかなり絡んでくる内容だなと思ったんですね。 ・大垣市は、大垣駅周辺だけが人口が集中していて、それ以外のところは人口が増えづらいという傾向がある中で、岐阜市は、中心部を変えていくということで、LRTという話題も出ています。 ・今まで日本の都市計画というのは、電車を中心にした都市計画が多かったと思っているんですね。 ・それはなぜかという、東京が一極集中していく中で、電車をうまく活用して都市ができていったからです。 ・それを地方で実践しているのは、あまりうまくいっていないんじゃないかというのが僕の所感としてはあります。 ・その中で、岐阜市は、新たな都市計画としてのあり方を考えていると

<p>委員</p>	<p>思いますし、大垣市も新たな都市計画が必要になってくると思っていたんですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そこで、この計画というのは、とても良い突破口になる可能性があるなどというので、委員を引き受けました。 ・今、皆さんがおっしゃっていたように、電気自動車というインフラが、これから可能性として出てくる。 ・そうしたときに、都市計画のあり方がやっぱり変わってくると思うんですよね。 ・人が移動する交通網や物流はこれから20から30年で大きく変わると思います。 ・そこで、大垣西インターチェンジ周辺が新たに再開発されることによって、ここで人や物流がどう行き交うかという中規模な社会実験をしているというふうに思ったんです。 ・先ほど、大垣市の魅力というのはあまりないという話をしましたが、確かに仕組みという部分で、大垣市の魅力を出していくのもひとつだと思っていて、この大垣市の新たな都市計画というものがうまくいけば、他の都市にも波及していく可能性があるという非常に効果の高い実験だと思っんです。 ・その実験がうまくいくか、いかないかというのは分からないんですが、 委員もおっしゃっていましたが、どう都市計画というものを考えて運営していくかということが非常に重要な気がしていて、そのときに、交通網のインフラというものが西と東でどうつながっているのか、大垣の駅を中心にしてどうなっているのかというのは、広い視点が必要だというふうに思っていますが、ここの中ではあまり触れられていないと思っんです。 ・そのあたりを考えていくと、より計画が魅力的になると思っました。 ・もう1つは、インバウンドは大きな資源になっている気がします。 ・岐阜県の飛騨高山をはじめとする多くの観光地は、非常に多くの観光客が来ていて、予算不足と言っはいるものの、人が来れば予算が大きくなっていくわけなので、インバウンドを計画に入れるとか、そういった視点があまり入っっていないと思っしたので、都市計画の部分とインバウンドを含めて考えてもらっくと、より魅力的になるのかなと思っました。
-----------	--

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどおっしゃった東の方の公園整備というのは、その気のある人さえ集めればそれほどお金はかかりません。 ・わざわざ作ることより、ここを生かし直すという発想はいかがでしょう。 ・ブルーベリーのような果物の栽培といった、今できることをどんどん進めていけば、そんなにお金を使わなくても、魅力ある地として発信できるのでは。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的には観光的な施設も検討していくと思います。 ・■■■■委員のおっしゃるとおり、もう少し俯瞰的に見たときに、北陸は北陸で経済圏が東京や関西とつながっている。 ・一方で大垣は東海環状自動車道があり、名古屋圏の西の外れで関西に近いという立地特性を生かすとかなり良いと思うんですよ。 ・都市計画という大きく捉えた中での道の駅となったときに、インバウンドの話もあり、セントレアからのインバウンドを見込め、上石津や中部山岳地帯のストックを受けるための骨組みを作っていくには、良い地域かなという気はしているんですけど、ぜひ大きな位置づけとしてのご意見等もぜひこれからもいただきたいと思います。 ・皆様のご意見を聞いて、事務局から何かご意見ありますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・参考にさせていただきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に業者の参入調査をされて、西側の評価が良かったということですけれども、私としては、用地取得の可能性が高いということを最大の基準にされた方が良いのではないかと思います。 ・用地買収では、一人でも用地を売ってくれないと、事業が止まる可能性は十分にありますので、早く事業を進めるためには、何を基準に考えていくか。1番目として、確実に用地を取得できるということがポイントなんじゃないかなとは思っていますので、ご検討いただければと思います。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・6ページの県内の観光入込客数のランキングは、勘違いされるので気をつけていただきたいんですけども、施設や利用人口としては一番すごいのは岐阜駅だと思います。駅は人が集まってくるということで、道の駅という駅がついているので、駅という概念をもう一度よく考えていただいて、それが道の駅という、この駅という意味を考えていただきたい。 ・だから、高山市全域が観光の駅と言えば駅ですし、本当は船町川湊も川の駅ということでいこうと言っていたんですけども、それはインパクトが弱いということになりました。 ・ 委員のおっしゃるとおり、28年ぐらい前にレポートを作成しており、今、28年目に日の目を見たということなんですけれども、逆に遅れることによって、情報産業の変革というのは一種独特で、これから新しい社会を導くには良い時代だったと思います。遅れたことをプラスに捉えて、ぜひ進めていただければと思いますので、よろしく願いいたします。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・むずびの地記念館の来館者数の話が出ましたが、この委員会の中で来館された方は挙手をお願いします。来館されていかがでしたか。 ・開館当初から様々な工夫を凝らした企画展などを開催し、奥の細道の魅力、俳句の魅力、芭蕉さんの魅力、大垣の魅力を学芸員の方々と共に発信しています。 ・来館される方々とお話をさせていただく中で、どうして大垣に来られたか、どこから来られたか、記念館にはどういう目的で来られたかと伺うようにしているのですが、やはり「大垣は通過点でわざわざ来るところじゃない」と言われる方が多いのが事実です。 ・初めて大垣に来られた方からは「コンパクトで良いまちですね」という声も多いです。 ・それでも来館されたお客様には、その方の欲する情報を少しでも提供し、「楽しかった、来て良かった。また来ます」と言ってもらえるよう、皆で工夫しています。 ・道の駅でも、箱物を作って終わりではなく、時々ニーズに合わせて、周期的にチェンジをして、常に新しい提案をしていくのが大事だと思います。 ・フェーズ1で考えられているようなビジョンは、お金をかけないからこ

委員	<p>そ、そのようなことが可能であるのではと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほど大垣インターチェンジの話がありましたけど、国道258号が走り、確かに交通量は多いですが、名神高速道路は積雪による通行止めが発生するので、トラックや車が名神高速道路から降りてくる。 ・すると、国道21号でも通行止めが発生するので、その対策を考えないといけない。 ・そういう観点から見ると、大垣西インターチェンジ周辺は非常に大切、ネックになってくるところだと思うんですね。 ・そこをまず念頭に置いて考えていくと、見え方が変わってくると思うので、この道の駅があつてよかったなと言っていただけのような計画にしてほしいです。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・55年間、奥の細道むすびの地と言い続けて、今ようやく認識されるようになったというくらい、インフラというものは時間とお金がかかるものですけれども、やはり大垣は終わりの地なんですよ。大垣西インターチェンジもどん詰まりなんですよ。 ・このどん詰まりの周りは消滅可能性自治体なんですよ。 ・でも、これから情報化が進めば進むほど、人間は生物ですので身体性や具象性を要求されたときに、上石津地域などは、とてもすてきなストックになるはずなんです。 ・先ほど■■■■委員がおっしゃった、新しい形での都市計画、利便性だけでない、本来のあり方を考えていけば、必ず良いものができるような気がいたします。 ・まだまだ何回か機会があるかと思っておりますので、またいろんなご意見をいただけたらなと思っております。 ・他にいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど委員長がおっしゃった、先のことを考えてという、今の子供たち、本当にいろんな機会に恵まれて、器具やITに恵まれているんですけど、何が足りないのかということ、体を使った遊び、身体感覚の部分がすごく大事になっていると思っております、この道の駅に対する多くの人の思いがあり、土地の買収の課題がある中で、30年、40年先の方々が良かったと思えるようなものにしていただけたらなと、思い参加しておりますので、ぜひ子育てしている人たちが良かった、使

委員	<p>いたいなと思える施設になっていただけたらと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうぞよろしく願います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・他にご意見もないようですので、これで議事を終了させていただきます ・それでは、進行を事務局にお返しします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・■■■■委員長、ありがとうございました。 ・これをもちまして、第2回会議を終了させていただきます。 ・なお、今回は、意見照会書という形で様式を設けておりませんが、今回の会議を踏まえまして、ご意見、ご質問等がありましたら、お電話でもメールでも、どのような形でも構いませんので、お知らせいただけたらと思います。 ・次回会議につきましては11月の下旬を予定しておりますが、改めてご案内をさせていただきますので、ご出席いただきますようお願いいたします。 ・それでは、これをもちまして閉会とさせていただきます。 ・本日は誠にありがとうございました。 <p style="text-align: center;">(終了時刻 11時30分)</p>